

Sociedad Hispánica de Yokohama

2011年11月1日発行 第59号



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局



横浜スペイン協会創立20周年記念号

AIYES通信 協会創立20周年記念号（第59号）目次

ご挨拶ー協会創立20周年を迎えてー 会長代行 山崎宗城	3
メッセージ 在韓国スペイン大使（当時） ファン・レニャ	4
横浜スペイン協会20周年を祝して 横浜市長 林 文子	6
日本とスペインとの架け橋として更なる発展を！ 横浜市国際交流協会理事長 森田信英	6
協会創立20周年記念パーティに寄せて 新たな力を持って更なる発展を 会長 下山貞明（当時）	7
横浜スペイン協会20周年記念行事	
協会創立20周年記念パーティ	8
全国スペイン友好団体・横浜会議	9
第13回京都セルバンテス懇話会横浜大会	10
私たちのスペイン展	11
わたしたちのスペイン音楽祭	12
横浜スペイン協会20年の歩み 協会の草創期 前副会長 齋藤由基彦	13
協会の設立から今日まで 編集委員会	14
これからの横浜スペイン協会に期待すること 前会長代行・副会長 飯塚 劭	19
会員のひとことー協会20周年を迎えて	19
追悼下山貞明横浜スペイン協会会長 故下山会長を偲ぶ	21
下山会長追悼文	
駐韓スペイン大使 ファン・レニャ	22
駐日スペイン大使 ミゲル・A・カリエド	23
駐日スペイン大使館公使 ルイス・フェルナンド・デ・セゴビア	24
駐日スペイン大使館文化担当参事官 カルロス・アベリャ・イ・デ・アリステギ	25
ロンダ市在住 ホセ・カベッサ・ディアス	26
コスタリカ在住 小原京子	26
横浜スペイン協会シンボルマークについて	27
表紙1 写真：友好のシンボルーロンダ市で咲く桜	
表紙4 写真：ロンダ市のシンボル、プエンテ・ヌエボ（上）と、横浜市のシンボル、ベイ・ブリッジ（下）	



ご挨拶

— 協会創立20周年を迎えて —

横浜スペイン協会
会長代行 山崎宗城

皆様 ご健勝のことと存じます。日頃は横浜スペイン協会の活動に対し、ご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

1990年7月7日に発足した当協会は昨年（2010年）7月7日をもちまして創立20周年を迎えました。それを記念して昨年はさまざまな催しを計画し、実行してまいりました。

このたびこれらの記念行事をまとめて記録に残し、併せて当協会の創立以来の経過を時系列的に紹介しておきたく、協会の会報AIYES通信の記念号を発行することになりました。

この発行は当初より、創立20周年記念企画の一環として計画しておりましたものでございます。

しかしながら、昨年の9月4日に当協会創立者で、会長を務めてこられました下山貞明氏が急逝されました。創立20周年記念パーティを多くのご来賓及び会員と共にお祝いした直後でございました。

そこで、この創立20周年記念号は、上記の内容の一環として、故下山貞明会長の足跡と其の逝去に際し寄せられました方々からのメッセージも収録することにいたしました。

さて、2011年度は当協会にとって、新たな一步を踏み出す年です。

創立以来20年も経ちますと、会員の交代や時代環境の変化がありますし、またこの度の震災から人々の意識の大きな変化もございます。

協会運営の世話役である、理事の数も少人数になりました。

今年度は、協会創立の原点に立ち返って、会員相互の交流、会員のスペインに対するさまざまな関心をサポートするサークル活動の支援、全国スペイン友好団体との結びつき、スペイン・ロンダ市との桜を通しての友好関係の維持を図る地道な努力を続け、伝統ある横浜スペイン協会を次の世代に渡していけるよう一丸となって努力する覚悟でございます。

今後共、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2011年8月吉日



Mensaje del Embajador de España

メッセージ

在韓国スペイン大使（当時）
ファン・レニャ

この度、横浜スペイン協会が創立20周年を迎えられました。20年の月日は若さの象徴、言い換えれば活動の歳月であったと同時に、スペインとの絆を益々促進させる（会員の）経験と奉仕の精神の積み重ねの成熟期にもあたるのではないのでしょうか。スペイン協会とはかように、すべてのスペイン人にとっても日本人にとっても模範となる存在なのです。その中でも、横浜スペイン協会は創立当初より下山会長のお人柄に見て取れる愛情に満ちた精神と確固たる決心を共にもって立ち上がった会でした。

下山会長に初めてお目にかかったのはかれこれ30年ほど前のことです。当時、私は在京スペイン大使館の文化担当官の職に就いておりました。才能と人徳が飛びぬけた人物であることに気付かされるのに、さほど時間はかかりませんでした。下山氏は時代を超えてスペイン国の“グラン・アミーゴ”なのです。こうしていても、昨日のこのように下山氏と育んだ友情を誇りをもって愛ししております。私の記憶に間違いがなければ、横浜市港南区に所在していた“ひまわりの会”（*Asociación del Girasol*）が今日の横浜スペイン協会の前身であったのではないのでしょうか。初めは、さほど規模の大きくなかった横浜在住の日本人達の会が、会員の情熱とともに前に踏み出しスペインとの絆を更に強めるきっかけを創ったのです。

スペイン協会という団体の偉大なる価値とは将にそこにあります。公的な二国間交流事業を超えたところで、スペイン・日本双方にとって意義ある、友情を基盤とした活動網を紡ぎあげていくことが重要なのです。スペイン協会そのものの存在がスペインと日本との間の距離を縮める民の声そのものなのです。と同時に、いわば徒歩で相手の国を知ろうとする者に対し、距離を詰めながら相互の国民を深く知っていくというプロジェクトを搭載させた乗り物の役割も果たしているのです。一例を挙げれば、横浜スペイン協会をはじめ、大阪・名古屋・鹿児島・神戸・宮城・関西（私が初めて着任した頃）等々のスペイン協会の功績は我々スペイン人が大いに認めるところであります。皆さんのお陰で、スペインという国、その豊かで多様な要素（芸術、文学、言語、音楽、フラメンコ、大学生活、経済、建築、ファッション、ワイン、郷土料理などなど…）についての知識を日本全国に広めることができたのですから。

ここに、日本に在るすべてのスペイン協会の益々のご発展をお祈りするとともに、私の大いなる友・セニョール下山のご健康をこころよりお祈り申し上げます。そしてもう一人、関西地域においてスペイン精神を具現化された友、亡き金森氏に対しても改めて追悼の意を表します。

最後になりましたが、2期に亘る私の日本滞在（書記官時代と後年の在京スペイン大使時代）で知り合い、そして別れた多くの方々に対し心から敬意を表したいと思えます。



Embajada de España

MENSAJE

La Sociedad Hispánica de Yokohama ha cumplido veinte años. Veinte años son a la vez de juventud, es decir, de vigor, y de madurez, marcada por la experiencia y la dedicación desinteresada a promover los vínculos con España. La Sociedad Hispánica es así un ejemplo para todos, españoles y japoneses. Pero la Sociedad Hispánica de Yokohama ha tenido desde su inicio un alma y un decidido impulsor en la persona de su Presidente, el Sr. Shimoyama.

Le conocí hace ya cerca de treinta años, cuando me ocupaba de las Relaciones Culturales en la Embajada de España en Tokyo. Pronto comprendí que se trataba de una persona en la que el talento y la estatura moral brillaban a gran altura. Era y es un gran amigo de España. Hoy como ayer disfruto con orgullo de su amistad. Creo recordar que la Asociación del Girasol del barrio de Konan de Yokohama estuvo en el arranque de lo que es hoy la Sociedad Hispánica de Yokohama. Un pequeño, pero entusiasta, grupo de japoneses de esa ciudad dieron los primeros pasos para impulsar aún más los lazos con España.

Ese es el gran valor de las Sociedades Hispánicas: crear una red sólida de afectos e intereses entre los dos países, más allá de los contactos oficiales. Las Sociedades son la voz de la ciudadanía que acorta distancias entre España y Japón. Vehículo también para que el ciudadano de a pie participe en ese proyecto de acercamiento y conocimiento mutuo. Osaka, Nagoya, Kobe, Kagoshima, Miyagi, Kansai (en mi época) y Yokohama, entre otras, merecen nuestro reconocimiento por lo mucho que han hecho para extender por toda la geografía japonesa el conocimiento de España en toda su riqueza y diversidad (arte, letras, lengua, música y flamenco, vida universitaria, economía, arquitectura, moda, vinos y gastronomía...).

Deseo fecunda y larga vida a todas las Sociedades Hispánicas, salud a mi buen amigo el Sr. Shimoyama y dedico un recuerdo emocionado al también amigo que nos dejó, el Sr. Kanamori, alma que fue de todo lo español en Kansai. Asimismo, mi profundo afecto a los muchos amigos que dejé en Japón, en mis dos etapas, como Secretario de Embajada y, años más tarde, como Embajador de España en Tokyo.

Juan Leña
Embajador de España en la República de Corea



横浜スペイン協会 20周年を祝して

横浜市長
林 文子

横浜スペイン協会の創立20周年、誠におめでとうございます。

貴協会はスペインと「ひまわり交流」を行っていた故下山貞明会長が「スペインに桜を植えよう」と提唱され、その輪が広がって設立されたと伺っております。

それから20年、貴協会は駐日スペイン大使館や他のスペイン交流協会と連携しながら、音楽、語学、文学などの分野で横浜とスペインを結ぶ友好事業を絶え間なく続け、多くの横浜市民の心にスペインへの関心の種をまいてこられました。

20年の節目の年を迎え、スペイン大使館の庭園に植えられた「横浜緋桜」のように友好の花を咲かせ、日西両国の関係者の皆様に新たな友情の種を生み出していることに深い敬意を表します。

約150年前の開港以来、横浜はさまざまなものを受け入れ、そして新しいものを生み出してきました。

このような“開放的で自由”、OPENな気持ちを持つ横浜市民の皆様が、日本を代表しスペインとの友好親善において主導的な立場を引き続き担われることを願っています。

横浜スペイン協会のますますのご発展をお祈り申し上げるとともに、今後とも横浜市とスペインの交流の担い手の裾野を広げていただくためにご尽力下さいますようお願いいたします。



日本とスペインとの架け橋 として更なる発展を！

横浜市国際交流協会
理事長 森田 信英

横浜スペイン協会設立20周年おめでとうございます。

20年前に「スペインに桜を植えよう！」との下山会長の思いに共感された方々によって始められた貴協会の活動は、スペインに寄贈された桜の苗木が地元に根付き、見事な花を咲かせるまでに成長していることが象徴するように、大きく発展されましたことに感銘を受けるとともに、会員の皆様のご努力に対し敬意を表します。

横浜市国際交流協会（YOKE）は、1993年の第1回「さくら植樹・スペイン友好親善訪問」に同行し、アンダルシアのロンダ市での桜の植樹祭に参加するとともに、ロンダ市民を対象にお茶や華道等のデモンストレーションを行いました。

2年後の1995年には、セビリア市、コリア・デル・リオ市の2市でも桜の植樹が行われ、今や多くの市民に親しまれる桜の名所となるなど、貴協会の活動はスペイン市民からも高く評価をされています。

スペインとの交流の先駆けであった貴協会の活動は、スペイン語教室をはじめスペイン料理や音楽など幅広いスペイン文化を横浜市民に紹介するなど、全国のスペイン協会を代表する協会へと発展され、今後とも日本とスペインとの友好親善の架け橋として更なる飛躍を心よりご祈念を申し上げます。

協会創立20周年記念パーティに寄せて

故下山会長の挨拶を掲載するにあたり20周年記念パーティでの謝辞を紹介します。



新たな力を持って 更なる発展を

皆様 こんにちは。本日横浜スペイン協会創立20周年記念式典に主賓のスペイン大使ミゲル・カリエド閣下夫人、公使参事官のルイス・フェルナンド・デ・セゴビア氏はじめ多数のご来賓の方々のご出席を賜り、盛大に開催できましたことは誠に光榮に存じております。

特にご承知頂きたいことは、現在駐韓スペイン大使にファン・レニャ閣下が着任されておりますが、本日はスペイン国経済副大臣が韓国にこられるとのことで、本式典をご欠席の連絡がありましたのでご報告いたします。

ファン・レニャ駐韓スペイン大使とは、1984年セビージャ・トリアナ区との文化交流が始まり、以来25年にわたりご縁がございました。

1990年7月7日に設立し、当協会の原点である日本の代表的な花「桜」をスペインに植樹し桜を媒介として文化交流をいたしたいと願い、スペイン大好きな仲間が集まり、スペインという共通の理解の下に20年が経過いたしました。

この間、歴代のスペイン大使をはじめとして関係機関の多大なご指導と会員の皆様方のたゆまぬご努力とご協力により充実した事業が展開できましたことを厚く御礼申し上げます。

特に1993年アンダルシア地方のロンダ市に桜を植樹し、今やスペインの桜の名所となっております。

このたび創立20周年を迎え、

- ①第2回全国スペイン友好団体との懇親会の開催
- ②記念講演 セルバンテス懇話会 横浜大会
- ③私たちのスペイン展
- ④記念コンサートの開催
- ⑤会報創立20周年記念号の発行

等、年間を通じて多彩な記念事業を実施いたします。

この20周年を契機として、会員相互のよりいっそうの結束を図り、新たな力を持って更なる発展を期待したいと存じます。

本日は時間の許す限り「みなと横浜の夜景」を楽しみながらご懇談いただければ幸いと存じます。ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を祈念して私の挨拶といたします。

横浜スペイン協会
会長 下山 貞明

協会創立20周年記念パーティ

日 時：2010年6月11日（金）18：00～20：00

会 場：ホテル モントレ横浜 バンケットルーム「シエル」

協会創立20周年記念イベントのメインとなる記念パーティが開催されました。

参加者はパーティ開始15分前から、ルナソワール・サクソフォンカルテットの音楽の流れる会場に入場いただきアペリティフとしてシェリー酒、カンパリソーダなどをお楽しみいただきました。

パーティはスペイン国歌が演奏される中を駐日スペイン大使夫人およびルイス・フェルナンド・デ・セゴビア公使が入場され始まりました。

まず主催者の下山貞明・横浜スペイン協会会長よりお礼の挨拶がありました（要旨は7ページ参照。通訳は栗山由美子会員）。

続いてスペイン大使館セゴビア公使参事官（通訳は、色川紀子スペイン大使館公使参事官秘書）、坂本重太郎・横浜スペイン協会顧問・元駐ス



▲林屋顧問による挨拶

페인日本大使よりお祝いの言葉をいただきました。

ご来賓のお客様の紹介を挟んで林屋永吉・横浜スペイン協会顧問・元駐スペイン日本大使による乾杯があり歓談に移りました。歓談中はサクソフォン・カルテットの演奏が行われ、その後栗山由美子講師のマグノリアクラスの生徒およびボランティアによるスペインの歌の合唱があり会場は大いに盛り上がりました。

にぎやかな歓談と熱気の中に、司会者による中締め挨拶があり20周年記念パーティは終了しました。



▲坂本協会顧問を囲んで楽しく談笑する会員

このパーティには、スペイン大使館からの主賓に加え、ガリシア州政府代表のペドロ・ガジェゴ氏、日本フラメンコ界から、小島章司氏、小松原庸子氏、セルバンテス懇話会から坂東省次氏、川成洋氏、音楽家として柳貞子会員、下山静香氏、山崎崇氏、横浜市都市経営局国際政策室から三枝忠裕氏、花と緑の研究所から新津賢二郎氏、更に全国スペイン友好団体からのゲストほか、多くの当会会員が出席し、にぎやかに創立20周年を祝うことができました。



▲会員とゲストの合唱団が会場を沸かせました

全国スペイン友好団体・横浜会議

日時：2010年6月11日（金） 15：00～17：00

会場：ホテル モントレ横浜 2階会議室 リッチモンド

出席者：鹿児島スペイン協会、神戸日西協会、関西日本スペイン協会、名古屋スペイン協会、
財団法人日本スペイン協会、日本・カタルーニャ友好親善協会、日本サラマンカ大学友の会、
宮城スペイン協会、横浜スペイン協会

司会：山崎事務局長

日本国内のスペイン友好協会が一同に会する「第2回横浜会議」が記念パーティに先立ち開催されました。

まず開催地である横浜スペイン協会下山会長の挨拶があり、つづいて各協会代表から活動が報告されました。

横浜スペイン協会は「協会20年の歩み」として活動記録を映像でプレゼンテーションを行いました。

活動報告の後はフリー討論に入り、各協会とも会員の ▲横浜に集まった各団体代表者
高齢化、経済の不振によりその活動が年々難しい状況下であり、どのように活動資金を調達しているか、協会の活性化のためにどのような活動をしているかなどについて意見の交換が行われました。

そして今後、各協会が連絡を取り合いお互いが協力をしていくことを確認しました。



▲当協会活動記録より

途中にスペイン大使館 ルイス・フェルナンド・デ・セゴビア公使参事官が到着し会議に出席されました。

公使は、色川紀子公使参事官秘書の通訳で挨拶をされ、日本における民間ベースの活動としてスペイン友好団体が日本各地で意義ある活動をしていること、さらに今回横浜会議の様に全国的な集会が開催されることの意義を評価し、また公使個人としても横浜とは家族の経歴上でも深い結びつきがあることを述べられました。

この後「横浜宣言」を読み上げ、会議は終了しました。

横浜宣言

私たちスペイン友好団体は、スペイン国との友好を末永く継続し、わが国との文化交流と、お互いの国の理解のために努力することを、ここに宣言します。

二〇一〇年六月十一日

鹿児島スペイン協会
神戸日西協会
関西日本スペイン協会
名古屋スペイン協会
財団法人日本スペイン協会
日本・カタルーニャ友好親善協会
宮城スペイン協会
横浜スペイン協会

第13回京都セルバンテス懇話会横浜大会

日 時：2010年6月26日（土） 12：45～19：00

会 場：波止場会館（研究発表・シンポジウム）

レストラン「スカンディア」（懇親会）

横浜スペイン協会創立20周年記念イベントの一環として、京都セルバンテス懇話会横浜大会が6月26日（土）の12時45分より波止場会館4階大会議室で行われ、盛会裏に終了しました。

大会は横浜スペイン協会飯塚劭副会長、続いて京都セルバンテス懇話会代表・京都外語大学教授 坂東省次氏の挨拶で始まりました。

当日のプログラムは第一部から第三部までの構成で、第一部は13時30分より2時間にわたり「日本・スペイン交流史」という観点から見た研究発表を3人の先生方が行いました。



▲自由闊達、談論風発のシンポジウム



▲熱心に聞き入る参加者

誠に誠に、清泉女子大学教授 吉田彩子氏、スペイン料理文化アカデミー主宰 渡辺万里氏の4人がパネラーとして日頃の研究成果を自由闊達に披露しました。

第三部は懇親会で17時30分から近くのレストラン「スカンディア」に場所を移して行われました。熱気あふれる会場で参加された方々は、ゲストを取り囲んで談論風発して時の過ぎるのを忘れるくらい盛り上がっていました。第一部、第二部の聴講者は80名を超え大盛況でした。第三部の懇親会も40名余が参加し、和気あいあいの内に散会しました。

最初に津田塾大学講師 浅香武和氏より「スペイン語教師、アルテミオ・リカルデの横浜」、続いて熊本県立大学講師 椎名浩氏「コスメ・デ・トーレス生誕500年を迎えて」、最後に龍谷大学準教授 安藤真次郎氏「500年前のバレンシア」と研究の成果を発表されました。

第二部はシンポジウム「私のスペイン」というテーマで15時30分より開催されました。

法政大学の川成洋教授の司会のもと立命館大学教授 高橋博幸氏、神田外語大学教授 本田



▲お世話になりました講師の皆さん

「私たちのスペイン展」

20周年記念行事「私たちのスペイン展」は、9月20日（月）から26日（日）の一週間にわたり、「みなとみらいギャラリーB」において行われました。会員による写真（48点）、絵画（18点）、手工芸（12点）の作品の展覧があり、スペインへの思いに溢れた力作ぞろいで来場者の皆さんにもなかなかの評判でした。今回は単独イベントでしたが入場者総数は600名を超え、来場の皆さんには新たにスペインの多様性にも触れていただけたと思います。

準備委員会による活動が佳境に入った9月には、下山会長（当時）が急逝されるという悲しい出来事がありました。急遽会場に氏の遺作品などのコーナーを設け、生前の業績を偲びました。

横浜スペイン協会
創立20周年記念

私たちの
スペイン展

写真 絵画
押し花 和紙人形

会期：2010年9月20日（月）～26日（日）
会場：みなとみらいギャラリーB
後援：スペイン大使館 Embajada de Espana
横浜市国際交流協会



▲会員の力作が並ぶスペイン展会場風景



▲マタドール・紙人形（中村瑛子）



▲風車・押し花（廣瀬孝子）



▲会場での芸術家たち

「わたしたちのスペイン音楽祭」

横浜スペイン協会には職業として、あるいはアマチュアとして色々な音楽の分野で活躍している会員が多くいます。

その方々にお集まり頂いて音楽会を開催する、それもスペインの音楽を中心に両国の交流の基となるようなプログラムで横浜スペイン協会創立20周年の記念にしようということで「わたしたちのスペイン音楽祭」と銘打ったイベントを企画しました。

手作りでなければ味わえないような多彩なプログラムで、2010年12月3日（金）、18時30分から21時過ぎまで横浜みなとみらい小ホールで開催しました。

プログラム第一部は児玉寛子会員の箏と設楽瞬山氏の尺八の息もつかせぬ絶妙な掛け合いから始まりました。続いて桜田ゆみ会員と仲間でサルスエラのアリアを中心に構成された新しい音楽劇、スペインの踊りや多彩な語りの合間、アリアの伴奏を支えたピアノとチェロの演奏があり、その前後には上野淑子会員のソプラノ独唱があり駆けつけた多くのファンを沸かせました。

第二部では客演の下山静香氏がアルベニスのピアノ作品を中心に演奏をされ、最後にはファリヤの「火祭りの踊り」を豪快に演奏しました。続いて同じく客演の荘村清志氏のギター伴奏で、柳貞子会員が「鳥の歌」を含むスペイン民謡と歌曲を披露しました。最後は荘村清志氏のギター独奏で、古いスペインの曲「アルフォンソ10世の編集によるマリア頌歌集」からとアルベニスの曲の演奏で会場は大いに盛り上がり「スペイン音楽祭」は成功裏に終演しました。



▲熱唱する柳貞子会員と荘村清志氏



▲桜田ゆみ会員による音楽劇



◀フィナーレで出演者全員がご挨拶

—— 横浜スペイン協会20年の歩み ——

1. 協会の草創期

前副会長 齋藤由基彦

会員の皆様の熱意にささえられ、2010年7月7日当協会は創立20周年を迎えました。そこで、ここまでに至った協会の歩みを、設立前からの動きを通して振り返ってみることにしました。分かりやすくするため、年表形式で記すことにします。

前史

下山会長が横浜市港南区長の時代に始まります。

- 1980年～ 区の花“ひまわり”に象徴される理念を生かした“国際交流”構想を練りました。この間、春田美樹画伯と柳貞子氏が相次いで来訪、下山会長と熱気溢れる懇談。そして、交流の相手はスペインと決まりました。理由付けは『数世紀にわたる日西友好関係。スペイン文化やスペイン人に対する親近感。そして、アンダルシア地方の明るく広大な大地に咲き誇る“ひまわり”』ということです。
- 1982年 8月 下山会長が、エドアルド・イバニェス駐日スペイン大使と面談。大使はこの“国際交流”構想に賛同される。
- 1982年10月 港南区民まつり「ひまわり文化祭」において“国際交流”構想を発表。イバニェス大使ご夫妻がご臨席。
- 1983年 4月 「横浜市港南区ひまわり親善国際交流協会」（以下「ひまわり協会」という）の設立総会を開催。駐日スペイン大使館ファン・レニャ文化担当一等書記官（後の、駐日スペイン大使）が、大使の代理として、他の関係職員と共にご臨席。
- 1983年10月 港南区民まつり「ひまわり文化祭」及び「'83スペインフェア」を開催。イバニェス大使ご夫妻レニャ一等書記官がご臨席。「大茶会」にご出席。「春田美樹油絵展」や「スペイン書籍フェア・スペイン物産コーナー」をご覧になる。
- 1984年 3月 (1) 下山会長が外務省情報文化局の担当官と面談。スペインへの調査団の派遣について、外務省及び駐西日本大使の協力を得る。
(2) イバニェス大使が横浜市長を表敬訪問。市長のプラド美術館の思い出話を交え、“ひまわり親善国際交流”について歓談。
- 1984年 3月 調査団をセビージャ市及び同市トリアナ区、マドリッド市の他2都市（グラナダ、マラガ）に派遣。（31日～4月9日）
(1) 駐西日本大使館を訪問。セビージャ市における調査団の受け入れ態勢を確認。
(2) マヌエル・デル・バイエ・アレバロ セビージャ市長及びフランシスコ・デ・アシス トリアナ区長と会談。市民相互の文化交流の趣旨に賛同を得、トリアナ区を窓口として、交流の推進に努める旨合意。
(3) レセプションを盛大に開催（アルフォンソ13世ホテルにて）。セビージャ市長及びトリアナ区長をはじめ、行政、金融、商工、観光、報道など各界を代表する方々のご出席。意見・情報交換を行う。
(4) ロンダ市文化担当官と春田美樹画伯が、調査団の宿泊先であるアルフォンソ13世ホテルに来訪。『ロンダ市民は、港南区との文化交流を希望しており、そのための組織づくりを進めている』とのロンダ市長のメッセージ（口頭）を受ける。
(5) トリアナ区長による歓迎パーティが下町のバルで開催され、同区内の各界を代表する方々ならびにロンダ市文化担当官及び春田美樹画伯ご夫妻が参会。簡素ながら、和やかで味わい深い懇談が続く。
- 1984年 6月 下山会長及び私（齋藤・以下同）が共に転勤、港南区を離れる。

- 1985年 9月 カミロ・パルシア駐日スペイン大使歓迎パーティ、続いて、フェリーペ・ゴンサレス スペイン首相歓迎パーティに「ひまわり協会」の役員と共に下山会長（当時：横浜市立大学事務局長）及び私（当時：横浜市建築局住宅管理課長）が招待を受け出席。セビージャ市長も出席され、旧交を温める。
- 1989年 4月 「ひまわり協会」は「こうなん文化・国際・交流協会」へと改組され、スペイン市民との相互交流の絆が切れました。

当協会の設立へ向けて

- 1984年 7月～「日本マドリード会」の理事でもあった下山会長は、純民間人によるスペインとの文化交流のあり方を模索。
- 1989年12月 春田美樹画伯がロンダ市長の『桜の植樹要請書』を携えて来訪。『日本の桜をスペインに、ロンダのピンサポを日本に』と、植樹交流を下山会長（当時：横浜産貿ホール専務理事）に提案され、“桜の植樹”構想が再浮上。
- 1989年12月～ 横浜在住の各界の方々の賛同を得て、“植樹交流”構想を練り、その具体化へ向けて事業の推進母体となる団体の設立準備作業を進める。この間、1990年4月に「スペイン・バルセロナ展（建築・芸術など）」が横浜において開催され、スペインにたいする市民の関心が一気に高まる。また、同年5月には「マドリード祭り」を開催。横浜港湾巡りや氷川丸船上でのパーティが催され、スペイン大使館関係者、日本マドリード会会員、横浜スペイン交流協会設立準備関係者や賛同者が多数参加。このように、高揚した状況の中で、協会設立作業は、若干の紆余曲折があったものの、設立発起人も決まり、『横浜スペイン交流協会設立趣意書』により、広く会員募集を開始する運びとなりました。

設立発起人（五十音順 役職は当時）

石川陽一	（神奈川県外国語学部スペイン語科教授）	竹田富美	（有明製菓<株>専務取締役）
植田伊津	（横浜国際婦人文化交流協会会長）	西丸興一	（横浜市立大学医学部教授）
五神嘉子	（鶴見区社会福祉協議会副会長）	春田美樹	（画家 スペイン・ロンダ市在住）
近藤四郎	（日本マドリード会会長）	森川正子	（横浜地方裁判所司法委員）
下山貞明	（<財>横浜産貿ホール専務理事）	森川裕也	（<財>横浜市建築保全公社理事長）
高島正子	（前 横浜家庭裁判所調停委員）	柳 貞子	（声楽家）

- 1990年7月7日 「横浜スペイン交流協会」創立総会を神奈川県国際交流協会ラウンジにおいて開催。（財）横浜市海外交流協会の今井専務理事及び日本マドリード会の近藤会長がご祝辞。駐日スペイン大使館マヌエル・ビジャビエハ公使・参事官のメッセージを披露。総会終了後、春田美樹画伯が『アンダルシア地方に住んで』とのテーマで記念講演。

（ここまではAIYES通信41号・15周年記念号より再録しました）

2. 協会の設立から今日まで

編集委員会

- 1990年 7月 横浜スペイン交流協会創立総会を開催（7日）。
- 1990年11月 会報「AIYES通信」創刊。
- 1990年12月 協会創立記念パーティ開催（於：横浜国際会議場ラウンジ）。アントニオ・デ・オヤルサバル駐日スペイン大使ご夫妻ご参会。
- 1991年 6月 親日家として知られ、横浜山手外人墓地に眠る故デル・カステージョ元駐日スペイン大使（1954年6月18日没）を偲んで、命日にスペイン大使館・協会の共催で追悼ミサおよび墓参の会を行う。



1990年 7月

- オヤルサバル駐日スペイン大使ご参列。
- 1991年10月 スペイン・サロン「日本とスペインの交流史」（佐久間正先生による月1回講義シリーズ）スタート。
- 1992年 4月 「スペイン語教室」スタート。
- 1992年 8月 復元船「サンタ・マリア号」の横浜寄港イベントに参加。横浜パシフィコ会場に「スペイン情報コーナー」を開設。「横浜スペイン交流パーティ」（31日）開催。オヤルサバル大使や多くの在日スペイン人も参加し、マドリッド大学生のトゥナの演奏を楽しむ。
- 1993年 3月 第1回さくら植樹・スペイン友好親善訪問を実施（26日～4月4日）。ロンダ市に桜の苗木200本贈呈。記念植樹と市民文化交流。セビージャ市を親善訪問。
- 1994年 1月 「スペイン写真展」を開催（於：フォーラムよこはま・5日～9日）。
- 1995年 6月 協会創立5周年記念パーティを開催（30日）。サンチャゴ・サラス駐日スペイン大使がご出席。
- 1995年10月 第2回さくら植樹・友好親善訪問（30日～11月6日）を宮城スペイン協会と共催で実施。セビージャ市マリア・ルイサ公園、コリア・デル・リオ市グアダルキビル川畔の公園に記念植樹。アルフォンソ13世ホテルにおける交流パーティにはロンダ市関係者も出席。
- 1996年 3月 「私達のスペイン」写真展（於：かなしんギャラリー・26日～30日）。
- 1996年12月 さくら交流基金募集ディナーコンサート「スペイン音楽のタベ」（湘南ゾリスデン弦楽四重奏）を開催。サンチャゴ・サラス大使がご出席。
- 1997年 4月 「スペイン語教室」 6講座開講。ほかに月1回テルトゥリア。「スペイン・サロン」（講演会など）年4回。
- 1997年 6月 サンチャゴ・サラス駐日スペイン大使が、当協会の名誉会長にご就任。
- 1997年11月 「スペイン写真展」（於：県民サポートセンター・15日～23日）。
- 1997年12月 さくら交流基金募集「アトランタ・フラメンコショー」を開催。
- 1998年 3月 第3回さくら植樹・友好親善訪問を実施（8日～17日）。セビージャ市トリアーナ地区プリンシペス公園にて桜植樹式。市民交流イベント「ヨコハマデー」（折り紙、押し花など紹介）を開催。ロンダ市アラメダ公園にて桜植樹式。「ヨコハマデー」も開催。
- 1998年 8月 「協会旗」及び「協会バッジ」を作成（児玉喬夫会員デザイン）。
- 1998年 9月 ロンダ市最大の行事「ペドロ・ロメロ祭」（1日～6日）に公式招待を受け、協会代表6名が参加。
- 1999年10月 ファン・レニャ駐日スペイン大使が、当協会の名誉会長にご就任。
- 2000年 4月 ロンダ市代表団6名を横浜に招聘（1日～7日）。日本の桜のお花見をはじめ歓迎行事を実施（協会創立10周年記念行事の一環）。
- 2000年 4月 スペイン語教室の課外行事として、講師および受講生6名がセマナ・サンタにコルドバ県バエナ市を訪問。市民交流を実施（20日～22日、協会創立10周年記念行事の一環）。
- 2000年 6月 協会創立10周年記念行事「スペイン映画会」を開催（於：関内ホール）。「私の秘密の花」（ペドロ・アルモドバル監督、1995年度作品）を上映。
- 2000年 7月 協会創立10周年記念行事「私たちのスペイン展」を開催（於：県



1992年 8月



1993年 3月



1995年10月



1998年 3月



2000年12月



2001年10月



2002年10月

- 民サポートセンター・2日～9日)。写真、絵画、手工芸（紙人形、押し花絵、タイル絵など）展示。
- 2000年 7月 「協会創立10周年記念フィエスタ」を開催（7日）。ファン・レニャ駐日スペイン大使ご夫妻、ロンダ市の彫刻家ホセ・カベサ氏などがご出席。
- 2000年 9月 関西日本スペイン協会主催の交流行事で志摩スペイン村の「アンダルシアフェア」を見学。日本各地のスペイン協会が集合。当協会員は18名が参加。
- 2000年12月 下山会長がスペイン国王から「イサベル女王勲章オフィシャル十字型章」を授章。スペイン大使館において伝達式。
- 2001年 4月 下山会長の「イサベル女王勲章オフィシャル十字型章」叙勲記念祝賀会を開催。ファン・レニャ駐日スペイン大使ご夫妻がご出席。
- 2001年 6月 駐日スペイン大使館主催「全国スペイン協会会合」に当協会代表4名が出席。
- 2001年 6月 「スペイン・サロン」カルメン・スペイン大使夫人を囲んで会員が懇談。
- 2001年10月 アンダルシア州経済振興公団および（財）横浜産業振興公社主催の「アンダルシア州フェア・in・横浜」（5日～14日）を後援。アンダルシアゆかりの「絵画」「写真」「記念品」を展示。また協会の事績を広報するパネルを展示実施する。
- 2002年 8月 協会のホームページを開設。（<http://www.yokohama-spain.org>）
- 2002年 9月 文化講座「スペイン音楽サロン」スタート。（サルスエラ鑑賞）
- 2002年10月 「スペインギターのタベ」を横浜みなとみらい小ホールにて開催（10日）。新進ギターデュオ「パネビアンコ&デル・モナコ」が演奏。
- 2002年11月 文化講座「絵画教室」スタート。
- 2003年 1月 ガリシア地方海洋汚染に対する会員有志からの義捐金を大使館を通じ送る。
- 2003年 1月 ハビエル・コンデ駐日スペイン大使が当協会の名誉会長にご就任。
- 2003年 5月 NHKテレビ「スペイン語会話」で当協会を紹介。
- 2003年 6月 故デル・カスティージョ元駐日スペイン大使の50回忌追悼ミサ（山手教会）および墓参（外人墓地）。ハビエル・コンデ駐日スペイン大使ご夫妻ご参列。その後、ハビエル・コンデ大使歓迎会を開催。
- 2003年11月 港南区・横浜国際交流協会共催の「子ども国際ゆめワールド」に参加。
- 2004年 4月 「スペイン語教室」11講座開講。
- 2004年 5月 総会で、協会の名称を「横浜スペイン交流協会」から、「横浜スペイン協会」に変更することが承認された。スペイン語名：Sociedad Hispánica de Yokohama 愛称：「AIYES」
- 2004年 9月 ロンダ市に「日本さくら広場」(Plaza del Cerezo Japonés) 完成。三崎輝夫会員寄贈のベンチ設置。
- 2005年 2月 スペイン大使館の庭園に、協会寄贈の桜（横浜緋桜）5本を植樹。
- 2005年 4月 ロンダ市親善訪問旅行を実施。「日本さくら広場」ベンチ贈呈式、関係者との親善レセプションなど。

（ここまではAIYES通信41号・15周年記念号より再録しました）



2003年 1月



2003年 5月



2003年 6月



2003年11月

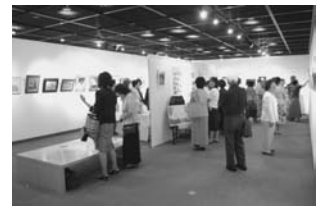


2004年 9月



2005年 2月

- 2005年 6月 AIYES通信「協会創立15周年記念号」を発行。表紙カラーの32ページ特集号で協会15年の歴史やスペイン・サロンなど協会の活動を紹介。また会員からの「ひとこと」を掲載し15年を集大成。
- 2005年 6月 協会創立15周年記念行事を開催。
「全国スペイン団体交流会」全国のスペイン友好9団体が集合し交流会を開催、横浜宣言を採択（於：グランドインターコンチネンタルホテル 24日）。
「ビバ スペイン！スペイン音楽の夕べ」会員音楽家の協力によるガラ・コンサートを開催（於：みなとみらいホール 24日）。
「私たちのスペイン展」創立10周年の作品展に続き2回目の開催。来場者は1000名を超える（於：みなとみらいギャラリー 20日～26日）。
「創立15周年記念パーティ」15周年記念のメイン行事パーティには駐日スペイン大使館文化担当参事官をはじめ来賓、会員やマスコミなど170余名が出席（於：グランドインターコンチネンタルホテル 24日）。
- 2005年 9月 「愛・地球博（愛知万博）」と志摩スペイン村訪問親睦旅行を開催。万博スペイン館やパルケエスパーニャなどを見学（8日～9日）。
- 2005年10月 音楽サロンと共催でスペイン・サロンスペシャル「TATUAJEを歌う」を開催（於：かなつくホール 1日）。
- 2005年11月 西丸與一当協会特別理事が「瑞宝中綬章」を授章。
- 2006年 1月 堂ヶ島温泉ホテルにて新年会およびスペイン・サロンを開催。
「ドン・キホーテ」新訳日本語版の著者荻内勝之東京経済大教授の講演と田邊一凜嬢の講談によるスペイン・サロンを実施（24日）。
- 2006年 5月 スペイン大使館庭園に横浜緋桜贈呈記念プレートを設置。
- 2006年 6月 新しく着任されたミゲル・A・カリエド駐日スペイン大使が、当協会の名誉会長にご就任。
- 2006年 6月 文化講座「スペイン音楽サロン」でザビエル生誕500年記念コンサート第一夜「ザビエルの時代の音楽」を開催（於：東京目黒聖パウロ教会 22日）。
- 2006年 6月 アルバロ・デ・マリチャール氏（聖フランシスコ・ザビエルー族の末裔）がジェット・スキーで来浜し歓迎会を開催（於：横浜ベイサイドマリーナ 27日）。
- 2006年 7月 協会ホームページをリニューアル。
- 2006年 9月 ザビエル生誕500年記念コンサート第二夜「ビウエラ曲集」を開催（於：東京目黒聖パウロ教会 21日）。
- 2006年10月 林屋永吉当協会顧問「米寿をお祝いする会」に出席（於：東京六本木国際文化会館 4日）。
- 2006年10月 文化講座「絵画教室」によるアンダルシア地方スケッチ旅行を開催。教室の指導者である島津画伯をリーダーに11名が参加し、トレモリーノスのホテルを拠点にスケッチ旅行（16日～30日）。
- 2007年 1月 ザビエル生誕500年記念コンサート第三夜「ザビエル時代のミサ曲」を開催（於：東京目黒聖パウロ教会 25日）。
- 2007年 7月 カリエド駐日スペイン大使夫人にご参加いただき押し花教室を開催、交流をはかる（於：大使公邸 3日）。
- 2007年10月 協会主催コンサート「Jazz、Modern vs Gipsy Music」を開催。アメリカのポップス、モダンジャズやラテン音楽をスペイン風に味付けした親しみやすいコンサートを企画し250名に及ぶ聴衆が



上4点2005年 6月
15周年記念行事



2005年 9月



2006年 1月



2006年 6月

- 入場。(於：かなつくホール 9日)。
- 2007年11月 スペイン・サロン「パエージャを作って食べる会」を開催。鎌田、山田両会員を講師に「これぞ手作りの味？」を堪能。
(於：神奈川地区センター 17日)。
- 2008年 2月 カリエド駐日スペイン大使夫人と観梅会を開催。園内の散策、重要文化財の見学、観梅ののち児玉会員らによる箏と尺八の演奏を披露 (於：三溪園 23日)。
- 2008年 5月 協会会報「AIYES通信50号記念号」を発行。
- 2008年 6月 スペイン映画の第一人者アルフレード・カステジョン監督および文芸評論家のホアキン・ヴェルドゥ氏を迎えて「スペイン映画の夕べ」を開催 (於：県民サポートセンター 1日)。
- 2008年 6月 協会創立20周年記念事業アイデア募集開始。
- 2008年 7月 スペイン語教室連絡会議開催。各教室講師と協会クラス担当で意見交換 (於：横浜プラザホテル 13日)。
- 2008年 9月 協会ホームページをリニューアル (<http://www.yokohama-spain.jp/>)。
- 2008年10月 スペイン・サロン「日本に魅せられたスペイン人の素顔」
講師：アインゲル・アロツ・ラファエル氏 (於：県民サポートセンター 5日)。
- 2008年11月 坂本重太郎当協会顧問が駐スペイン大使をはじめ長年の公務に従事し成績を上げられたことを評価され「瑞宝重光章」を授章。
- 2008年11月 スペイン・サロン「一流のギタリストが奏でるスペインの名曲の数々とトーク」講師：永島志基氏 (於：波止場会館 1日)。
- 2008年11月 スペイン国王王妃両陛下主催答礼晩餐会に下山会長が招待される (於：東京明治記念館 11日)。
- 2009年 4月 スペイン・サロン「イスパニア・ロマネスクを語る」講師：勝峰 昭氏 (於：市民活動支援センター 18日)。
- 2009年 5月 第2回スペイン語教室連絡会議開催 (於：横浜プラザホテル 24日)。
- 2009年 8月 スペイン語教室夏季特別講座「スペイン語によるスペインの歴史・文化」を開講 (於：県民サポートセンター 3日～26日 計6回)。
- 2009年 9月 スペイン・サロン「カミーノ・デ・サンティアゴ巡礼と奉仕の旅」講師：問屋正勝会員 (於：市民活動支援センター 18日)。
- 2009年11月 創立20周年記念イベントAIYESコンサート「ラテン音楽の歓び」開催。クラシック、詩の朗読そしてポピュラー曲と豊富な演目で聴衆を魅了 (於：かなつくホール 27日)。
- 2010年 6月 協会創立20周年記念行事開催。
「全国スペイン友好団体・横浜会議」(於：ホテルモントレ横浜 11日)。
「創立20周年記念パーティ」(於：ホテルモントレ横浜 11日)。
「第13回京都セルバンテス懇話会横浜大会」(於：波止場会館 26日)。
- 2010年 7月 協会創立20周年記念行事開催。
「第2回夏期スペイン語文化講座」開講 (7月28日～8月30日 計8回)。
- 2010年 9月 下山貞明会長逝去。(4日)
- 2010年 9月 協会創立20周年記念行事開催。
「私たちのスペイン展」開催 (於：みなとみらいギャラリー 20日～26日)。
- 2010年12月 協会創立20周年記念行事開催。
「わたしたちのスペイン音楽祭」開催 (於：みなとみらいホール 24日)。
- 2011年11月 AIYES通信「協会創立20周年記念号」発行。



2006年10月



2007年10月



2007年11月



2008年 2月



2008年 6月



2008年 7月



2009年11月

これからの横浜スペイン協会に 期待すること

前会長代行・副会長 飯塚 劭

昨年（2010年）7月7日、横浜スペイン協会は創立20年を迎えました。何ら後ろ盾を持つこともなく、純粹にスペインを愛する人々だけの、まったくのボランティアによる運営で、これだけの数々のイベントをこなし、続けられてきたことは“奇跡”といっても過言ではないでしょう。

これもひとえに会員の皆様、また当会の趣旨をご理解くださってご協力をしてくださる方々のおかげと、感謝の念に堪えません。

当会は20年前、故下山前会長の「スペインにさくらを植えよう」という言葉に賛同した人々の集まりによって発足しました。ですから、現在当協会活動の中心的なものになっている「スペイン・サロン」「スペイン語教室」をはじめとした、数々の活動原点もそこにありました。すなわち、スペインにさくらを植えに行くに際し、スペインを少しでも深く知ろうということで「スペイン・サロン」を、ならば言葉も出来た方がより良いだろうということで「スペイン語教室」がもうけられた、といった具合です。

しかし、当会発足から20年を経た今日、そしてスペインへのさくら植樹も一応の終結をみた現在、これからの横浜スペイン協会が、従来通りのコンセプトでの運営で良いはずがありません。会員の方々も、発足当時からみると変わりました。

20年、これは人間の一生に例えるなら、誕生から、乳児、幼児、少年期を経てようやく成人になったということですが。今までの20年で基礎的なものがやっと育成されました。ですからこれをあくまで土台の一つとして、新しい若い会員の皆様が横浜スペイン協会を、りっぱな青年、そして壮年へと成長させていただきたく、お願いすると同時に大いに期待しています。

会員のひとこと……協会20周年を迎えて

前回協会15周年記念号（AIYES通信41号）では多くの会員の方よりひとことを頂戴しました。

20周年記念号では理事をはじめ長年に亘り協会の活動に携わってきた方々にその思い出などを語っていただきました。

協会の歩みと併せてお読みいただくと協会の歴史が身近なものに感じていただけるでしょう。

なお掲載は50音順といたしました。

- 横浜スペイン協会の20年の歴史は、私にとって、1992年4月に「スペイン語による交流を」という趣旨で始めた、スペイン語教室の歴史にほぼ置き換わります。AIYESスペイン語教室はこの2012年4月で20周年になるのです！教えることで山ほどのことを学び、沢山の人に出会うことが出来ました。現在も「スペイン語の新聞・雑誌を読む会」でスペインの現代事情を、クラスの皆さんと共に楽しく読解・分析しています。8月11日ナバロ大使ご夫妻との中華街での会食の折、お二人が「参加者ほぼ全員がスペイン語を話し、何と素晴らしい！」とビックリされました。「20年の年月の流れの中で、このように変化してきました」と申し上げました。お役に立ったことも少しはあったかな、と感じています。（栗山由美子）

- 20周年を迎え、創刊号から編集に携わってきたものとして感無量の思いです。協会が発展するにつれ誌面が賑やかになり、どの原稿を入れようかと悩んだこともありましたが現在は発行回数が減りましたがその分はホームページが担っていますので情報量はそのスピードからして以前よりも増えています。編集の苦労話はAIYES通信50号で披露させていただいていますが、楽しく編集を続けてこられたのも活発な協会活動があったからと思っています。(鈴木生雄)
- 一番の思い出は、2005年4月のロンダ公式訪問です。10数年前協会が植樹した桜の木が根付き、市内のあちこちで花が咲いているのを見て感激しました。その訪問の時「日本さくら広場」に日本の桜とロンダ市の木「ピンサポ」を植樹しましたが、その木々も今では大きくなり花を咲かせ、広場は市民の憩いの場となっていることでしょう。時が移り、人が変わっても、桜の花が年々咲き続けていると思うとスペインとの絆とロマンを感じます。(寺原瑛子)
- 創立20周年の重みはアンダルシアに不可能と言われた日本の桜の植樹を実現し、見事に毎春咲き続ける様になり、さらに地元の人達の力で自由に増やして行けるまでになったことや創立2年後から始まったスペイン語教室の歴史があります。ABCのクラスから始まった教室は18年間に16人の講師を迎え(内スペイン人11人)、現在、文学講読、文化講座、政治、経済、社会のレクチャーをスペイン語で講義を受けるまでになりました。感無量です。(中村瑛子)
- 家内と私が横浜スペイン協会に入会したのは、大阪で仕事をしていた時で、それも何時帰浜できるのか全く予定のない頃でした。それから10年、やっとわが故郷に帰って来ることが出来て、お世話になった協会のために少しのお返しを、と思いお手伝いをするうちに他の協会の情報に接することになりました。どの協会も夫々に特徴があり、それらの協会との交流も出来て、益々楽しくなりました。それでは横浜スペイン協会の特徴と言えば何でしょうか？特徴付けをするとすれば、多彩な講師によるスペイン語教室と「音楽」ではないでしょうか？私も音楽が好きで、会員の中には、私が学生時代から憧れていた方も含めて、プロ、アマチュアを問わず、幅広く音楽に係わっていらっしゃる多くの会員の方たちの存在でした。そのような方たちに出演していただいた音楽会に携われたことが、この10年の思い出として、深く心に残っています。有り難うございました。(廣瀬勝亮)
- 20周年おめでとうございます。会員一人一人が趣味と特性を持って、20年も続いて来られたのは、役員の方々のおかげと深く感謝しています。何よりもゆるやかな連帯とそれぞれが持っている一スペイン大好きーの気持ちが当協会のすばらしいところですね。これからもよろしく願いいたします。(松本益代)
- 横浜スペイン協会に関する思い出は、桜植樹とロンダです。セビージャとコリア・デル・リオの桜は、諸事情により根付きませんでした。ロンダの桜は毎年花を咲かせています。忘れられない思い出は、ロンダ市の厚意で造園され「日本さくら広場」と命名して頂いたプラサの完成の橋渡しが出来たことと、昨年4月、故下山会長が個人で寄贈なさった「平和のモニュメント」の除幕式に参列させて頂いたことです。沢山の思い出を有難うございました。(宮崎紗伎)
- 世界的な情報技術の目覚ましい進歩により、世界がますます狭くなるにつれ、国際的な相互理解の重要性が増してきます。スペインとの幅広い国際交流を通じて、世界平和に貢献できることを願っています。20年の歴史と伝統のある当協会が、従来の活動の枠を越えて一段と活性化され、実りと魅力のあるものとなるように、全員が協力して、夢をもって明るく前進しましょう。(渡邊昭夫)

故下山貞明会長を偲ぶ

故下山貞明氏は1980年代の横浜市港南区長時代から、スペインとの国際交流を理念として尽力し、1990年7月7日、現在の横浜スペイン協会の前身である「横浜スペイン交流協会」を創立しました。以来20年間に亘り横浜スペイン協会の会長を勤め、協会創立20周年の記念パーティを2010年6月11日ホテル・モントレ横浜において、多くのご来賓の方々と会員と共にお祝いした後、9月4日午前10時58分川崎市の平和病院で83歳の生涯を閉じました。

2000年12月には、スペインとの市民レベルの国際貢献に対して、スペイン国王から「イサベル女王勲章オフィシャル十字型章」を授賞しています。

スペイン国セビージャ市・ロンダ市に日本の桜を植樹し、またロンダ市の「日本さくら広場」(Plaza del Cerezo Japonés)を設置、東京のスペイン大使館の庭への桜の植樹、ロンダ市公園へスペイン市民戦争終結後70年目の平和の碑の建立に協力しました。そして本年創立21年目を迎えた横浜スペイン協会は、その意志を継いで活動しております。

以下、各方面からいただきました下山会長追悼のメッセージを掲載します。



▲2005年4月ロンダ市日本さくら広場で記念植樹をするマリン市長と故下山会長



▲2000年12月叙勲伝達式で駐日スペイン大使と乾杯する故下山会長夫妻



▲ロンダ市公園「平和の碑」に刻まれた故下山会長の名（カベッサ氏提供）

5 de septiembre de 2010

Estimado Sr. Yamazaki:

Enterado de la triste noticia del fallecimiento del Sr. Sadaaki Shimoyama, le envío mi más sincero pesar por una pérdida tan sensible y le ruego que haga llegar este mensaje de pésame a su familia, lo mismo que a los miembros de la Asociación Hispánica de Yokohama.

Conocí y tuve amistad con el Sr. Shimoyama desde mi primera etapa en la Embajada de España en Tokyo entre 1980 y 1984. Aprecié desde el primer momento su calidad humana, lo mismo que su talento y su cariño a España, como prueban su dedicación a la Sociedad Hispánica de Yokohama y a todas las Asociaciones Hispánicas de Japón.

Por razones de trabajo, lamenté no haber podido asistir al aniversario de la Asociación Hispánica de Yokohama, el pasado 11 de junio. Sus muchos méritos y su entrega y dedicación a promover los vínculos con España hicieron que su Majestad el Rey de España, Dn. Juan Carlos I, reconocieran su labor condecorándole, durante mi etapa como Embajador de España en Japón.

Yokohama y Japón han perdido un ciudadano ilustre y ejemplar y España ha perdido un gran amigo.

Juan Leña

Embajador de España en Japón entre 1999 y 2002
y actualmente Embajador de España en la República
de Corea

2010年9月5日

山崎様

下山貞明氏の訃報に接し、惜しみて余りあるその御逝去に、心から哀悼の意を表します。そしてこのお悔やみのメッセージが、御家族の方々、ならびに横浜スペイン協会の会員の方々に届きます事を願っております。

私が最初に東京のスペイン大使館に駐在しました1980年から1984年の期間に、私は下山氏と知り合い、親交を結びました。最初にお目に掛かった時から、私は下山氏の品格、才能、そして横浜スペイン協会ならびに日本各地のスペイン協会への献身が示すように、そのスペインに対する愛情を高く評価しました。

私は、仕事の都合により去る6月11日のスペイン協会（※創立20周年）記念式典に出席できなかったことを、残念に思っております。スペインとの絆を深めるために下山氏がなされた数多の功績、一途な専心、心からの献身により、私の駐日スペイン大使在任時に、スペイン国王ファン・カルロス1世陛下は下山氏の業績に対し、勲章を授けられました。

横浜そして日本は、優れて模範的な一人の人物を失いました。そしてスペインは一人の偉大な友人を失いました。

ファン・レニャ
※駐日スペイン大使（1999年～2002年）
駐大韓民国スペイン大使（当時）

※の部分は編集委員会で補足したものです。

Tokio, 7 de septiembre de 2010

Sociedad Hispánica de Yokohama

Estimados Sres:

Deseo enviarle mi más sincero pésame por el reciente fallecimiento del Presidente de su Sociedad, el Sr. Shimoyama, triste noticia que acaba de llegar a mi conocimiento.

Durante su presidencia de la Sociedad Hispánica de Yokohama, el Sr. Shimoyama desarrolló una tarea ejemplar en la difusión de la cultura y lengua española, que la Embajada de España reconoce y siempre agradecerá mucho.

Como Embajador de España en Japón les envío mi más sinceras condolencias.



駐日スペイン大使
ミゲル・A・カリエド

Atentamente,

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Miguel Ángel Carriedo'. The signature is fluid and cursive, written on a light-colored background.

Miguel Ángel Carriedo
Embajador de España

平成22年9月7日、東京にて

横浜スペイン協会様

貴協会下山会長ご逝去の報に接し、謹んでお悔やみを申し上げます。

横浜スペイン協会会長ご在世中は、スペイン語やその文化の普及にご尽力頂き、ひとかたならぬご厚情を賜りましたこと、駐日スペイン大使館として心より感謝申し上げます。

駐日スペイン大使として、ご冥福をお祈りいたします。

合掌

Sr. Muneshiro Yamazaki
Secretario General de la Sociedad
Hispánica de Yokohama

Tokio, 06 de septiembre de 2010

Mi querido amigo:

He tenido noticias del triste fallecimiento del Presidente de su Sociedad, Sr. Sadaaki Shimomura, a quien tuve el gusto de conocerle en el 20º Aniversario de la Sociedad.

En nombre de España y mío propio doy el más sincero y sentido pésame por tan profunda pérdida para la asociación y para las relaciones de amistad hispano-japonesas.

Un fuerte y fraternal saludo
LFS



ルイス・フェルナンド・デ・セゴビア
駐日スペイン大使館公使



Luis Fernando de Segovia
Segunda Jefatura de Misión
Embajada de España

横浜スペイン協会事務局長
山崎宗城様

東京、2010年9月6日

拝啓

横浜スペイン協会の創立20周年記念式典でお目に掛かりました貴協会会長、下山貞明様の訃報を拝受しました。

スペイン、そして私の名において、貴協会ならびに日本とスペインの友好関係にとって、かけがえない方を失ったことに対し、心から哀悼の意を表します。

敬具

Tokio, 7 de septiembre de 2010

Estimado Sr. Yamazaki:

Les escribo por haber llegado a mi conocimiento la triste noticia del reciente fallecimiento del Presidente de su Sociedad, el Sr. Shimoyama, motivo por el que quiero transmitirles mi más sentido pésame.

Como Presidente de la Sociedad Hispánica de Yokohama, el Sr. Shimoyama, desarrolló una tarea ejemplar en la difusión de la cultura y lengua española, que España reconoce y siempre agradecerá por la gran aportación que ha supuesto al conocimiento sobre España en Japón. En estos tristes momentos, a pesar de la gran pérdida que supone el fallecimiento del Sr. Shimoyama, deseo que la Sociedad Hispánica de Yokoyama mantenga su siempre ejemplar y entusiasta actividad, enormemente valorada desde la Embajada de España.

Como Consejero Cultural
de la Embajada de España en Japón,
deseo transmitir a todos los miembros
de la Sociedad Hispánica de Yokohama
mis condolencias más sentidas.



カルロス・アベリャ・イ・デ・アリステギ
駐日スペイン大使館文化担当参事官

Atentamente,

Carlos Abella y de Aristegui

横浜スペイン協会事務局長
山崎宗城様

2010年9月7日 東京にて

貴協会会長ご逝去の報に接し、謹んでお悔やみを申し上げます。

横浜スペイン協会会長ご在世中は、スペイン語やその文化の普及にご尽力頂き、ひとかたならぬご厚情を賜りましたこと、スペイン国として心より感謝申し上げます。

皆様のご心痛はいかばかりかと拝察いたしますが、貴協会のすばらしい活動を今後も続けて下さいますよう、駐日スペイン大使館も祈念いたしております。

駐日スペイン大使館文化担当参事官として、横浜スペイン協会の会員の皆様にご冥福をお祈りいたします。

合掌

■追悼 下山会長

偉大であり私の友である人物の死を悼み、
心から哀悼の意を表します。
カベッサ



ホセ・カベッサ・ディアス氏
ロンダ市在住の画家・彫刻家です。
AIYES通信37号に「ロンダに故春田画伯の記念
碑立つ」で記念碑の製作者として紹介されてい
ます。
写真左端がカベッサ氏。

下山貞明様のご逝去の報に接し、心よりお悔やみ申し上げます。
横浜スペイン協会のご縁で、下山会長には公私とも大変お世話になり
深く感謝しています。
セビリアやロンダに植樹なされた桜、スペイン大使公邸に寄贈いただいた横浜緋桜、
会長の想いをついでこれからもずっとずっと美しい花を
咲かせ続けることと思います。
スペインの騎士のような紳士的で優しい会長を遠く中米の地より偲び、
ご冥福をお祈りいたします。

在コスタリカ 小原京子



小原 京子さん
元駐日スペイン大使館職員、現在コスタリカに
お住まいです。
AIYES通信48号に「カラカスからの便り」を寄
稿いただきました。
写真左端が15周年記念パーティで通訳を務め
られた小原さん。

横浜スペイン協会シンボルマークについて

横浜スペイン交流協会が誕生した1990年に、協会の会報AIYES通信創刊1号が11月1日号として発行されました。この誌面で協会のシンボルマークのデザイン募集が行われました。

締め切りは翌年1991年11月30日でした。其の結果、最優秀デザインとして会員の児玉喬夫さんの作品が選ばれ、協会のシンボルマークとして決定されました。

AIYES通信第4号（1992年12月1日発行）には、次の様に児玉さんのコメントが掲載されております。

このマークをデザインする上で、思い浮かべたのが次の様なキーワードでした。

「太陽の国・スペイン」「日出ずる国・日本」そして「横浜」と「桜」又は「桜植樹」等です。先ず太陽ですが、両国に共通するこれ程強いシンボルはないと考え、これを基に横浜スペイン交流協会の略称AIYESを円（太陽）の中に置くことにして、Y（横浜）の部分の桜の枝に見立て、一輪の花を咲かせることで、当協会のメイン事業である桜植樹を強調し、また象徴としました。この様にしてまとめたものがこのマークです。一寸、頼りない一輪の花ですが、植樹を契機に、いろんな方面で交流が盛んになり、この円いっぱいには花が咲きこぼれる様なデザインに描き変えねばならない程、交流が深まり、それが強い絆で末永く続くことを、この桜は夢見ているのではないのでしょうか。 児玉 喬夫

これからも、このシンボルマークに込められた横浜スペイン協会設立の理念が正しく引き継がれ大きく実を結んでゆくように期待しています。



協会旗

<編集後記>

AIYES通信59号ー協会創立20周年記念号をお届けします。すでに記念パーティから1年以上が経過していますが、当初よりすべての行事を紹介することを目的としていましたので今春の発行の予定でした。しかしながら昨秋の下山会長の逝去や、本年3月の東日本大震災などの社会的要因等で発行が大幅に遅れてしまいました。会員の皆様にお詫び申し上げます。

20年といえば人間で言うなら成人式です。多くの会員が同じように考えていると思いますが、それはまだ学生か、社会にデビューしていてもフレッシュな年頃です。協会と人間といっしょに考えるのは無理かもしれませんが、まだまだ発展の余地が多く残されていると思います。これからの5年、10年楽しみにしています。もちろんAIYES通信も続きますよ。

(鈴木生雄)

編集委員 澤田眞人 石井加奈弘 桜田ゆみ 鈴木生雄 千葉博子 中西輝夫 真木幸子 山崎宗城 飯塚 劭

横浜スペイン協会会報係 e-mail : aiyes_press@yokohama-spain.jp
横浜スペイン協会URL <http://www.yokohama-spain.jp>



Sociedad Hispánica de Yokohama

横浜スペイン協会

